

2019年3月31日
教務学生委員会

2018年度後期授業評価のまとめ

今年度後期の授業評価アンケート調査の結果概要を以下にまとめる。ほとんどの基幹教員、講師から回答が得られ、アンケートの回収率は非常に高い。概要を以下に記す。

	登録学生数(研究生含)	回答者		授業満足度					授業目的達成度				
		数	%	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
研究科共通	94	61	65	1	0	14	29	17	0	0	8	35	18
専攻科目	256	220	86	1	2	15	93	109	1	8	17	86	108
合計	350	281	80	2	2	29	122	126	1	8	25	121	126

※ 授業満足度、授業目的達成度ともに5が最も高く、1が最も低い。

【総評】

1. 満足度・達成度ともに、昨年度とほぼ変わらず、平均して高い評価を受けている。
2. 学生からの要望・意見として、議論・ディベート・事例研究・ロールプレイ・模擬裁判等、参加型の授業形態を望む声が多い。
3. 教員からの意見として、授業中の議論に参加しない学生や、予習をしてこない学生等、学習態度が受け身な学生がいることが指摘された。学生の側だけでなく、教員の側にも責任があるので、ひとりひとりの学生が能動的に授業に参加できるような授業設計・仕組み作りが求められる。